

(平成 29 年 12 月試験研究業務月報)

試験研究課題：伝統野菜の保存と展示及び優良種苗の確保

研 究

伝統野菜の種子維持のため採種しています

京の伝統野菜^{*}の種子は京都府固有の貴重な遺伝資源です。当センターでは、その消滅を防ぐとともに、原種として府内産地に提供するために種子を低温保存しています。しかし、種子には寿命があるので、約 5 年～10 年ごとに栽培して採種し、さらにその種子が本来の形状に育つことを確認する必要があります。

本年度は、伏見トウガラシと聖護院キュウリの採種、笠置三尺キュウリの形状確認を終えました。

現在は舞鶴カブを栽培しており、来年度の初夏に採種し、秋作で形状を確認した上で、種子を維持・保存していく予定です。

※京の伝統野菜：明治以前に導入された歴史がある野菜で、府農林水産部において 37 品目を認定している。



伏見トウガラシ成熟果
(10 月撮影)



栽培中の舞鶴カブ
(12 月撮影)